

## 式 辞

学校長 仲宗根 勝

春の息吹を感じる本日、高良町長をはじめ、多数の来賓並びに保護者のご臨席を賜り、沖縄県立本部高等学校第48回卒業式を挙げていただけますことは、この上ない喜びであり、在校生・教職員一同、心より感謝と御礼を申し上げます。

本校創立50周年の節目の年に、卒業する皆さん、卒業おめでとうございます。新たな人生のスタートを切る時を迎えました。振り返ってみますと、「小さな学校」である本部高校で、「大きな夢」を抱いて入学し、日々の学校生活を精一杯送り、人間的に成長しました。今日の佳き日を迎えられるのは、皆さん自身の前向きな行動と努力によるものであります。同時に温かい愛情を持って励まし、支えてくれた家族、友人、先輩、先生方のお陰でもあります。どうか、人は人に支えられていることに感謝してください。この気持ちを表している石碑が本校の校庭にあります。そこには、中国の故事成句「飲水思源」と刻まれています。訓読して言い換えますと、「水を飲んで、源を思う」。この意味は「他の人から受けた恩を忘れてはいけない」ということです。この言葉の通り、ぜひ、人間味のあふれる心温かい大人になってください。

本校を築立つ前に、ここでもう一度、本校の4つの校訓を心に留めてほしいと思います。

1つ目に「明朗」、常に笑顔を忘れず、朗らかな気持ちで、人と接してください。

2つ目に「誠実」、思いやりの心をもって、人にやさしく接してください。

3つ目に「友愛」、友情を大切に、多くの友だちをつくり、人的ネットワークを広げて下さい。

4つ目に「気迫」、力強く立ち向かう精神力をもってください。

この4つの校訓は、まさしく今、社会で求められている人間の資質であります。急速に変化するグローバル化社会で活躍できるのは、これらの校訓を兼ね備え、主体的に行動し、柔軟に物事に対処できる人です。ぜひ、やりたいことには、ひるまず、「武本部」の精神で果敢に挑戦してください。

卒業生の皆さんに、はなむけの言葉を贈ります。これは、アメリカ合衆国第16代大統領リンカーンの名言であります。“Where there is a will, there is a way.” 「意志あるところに、道は開ける」。本部高校の先輩方が築いてきた歴史と伝統を深く心に刻み、本校の卒業生としての自覚と誇りをもって、日々、精進してください。

結びに、卒業生並びに保護者の皆様に重ねてお祝い申し上げますとともに、本校の教育活動に対して格別のご理解とご協力を賜りましたご来賓並びにPTCA、地域の皆様に心より感謝申し上げます。式辞と致します。

平成29年3月1日